

開発品

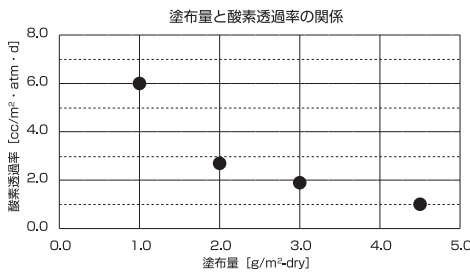
## HPU水性バリアインキ

### 特長

- 水性かつHPUを使用した環境対応型グラビアインキです。
- 水酸基を多く有するウレタン樹脂であるため、酸素バリア性に優れています。
- アルカリ脱離が可能のため、モノマテリアル化に貢献します。
- ドライラミネート構成・ヒートシール構成などの用途に応用可能です。
- 酸化チタンを分散した白インキタイプも取り揃えています。

### 性能データ

#### ■ 酸素透過率



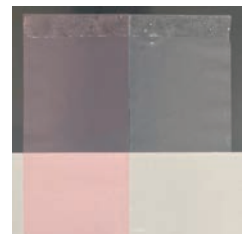
印刷構成：HDPE(50μm) / HPU  
測定条件：23℃, 65%Rh  
※塗布量は実測値

#### ■ 保香性

	室温4日		室温4日+40℃-1日	
	バリア無し	バリア有り	バリア無し	バリア有り
リモネン	5	1	5	1
しょうゆ	2	1	4	1
カレールー	1	1	5	1
ソース	2	1	4	2
バニラ	1	1	3	2
らっきょう漬	2	1	4	1

構成：PE / HPUバリアコート / LLDPE  
方法：内容物充填後、①室温4日②室温4日+40℃-1日後の官能臭気試験  
表中数値：匂わない1 ← → 5匂う 6名による試験の平均値

#### ■ アルカリ脱離



アルカリ脱離前 アルカリ脱離後  
80℃, 4.5wt% NaOH水溶液にて10分攪拌後水洗い  
※HPUを着色

### 応用例

#### ■ ドライラミネート構成・ヒートシール構成

構成	ラミネート強度 [N/15mm]	シール強度 [N/15mm]
ドライラミネート構成	1.6	材破
ヒートシール構成	-	3.0

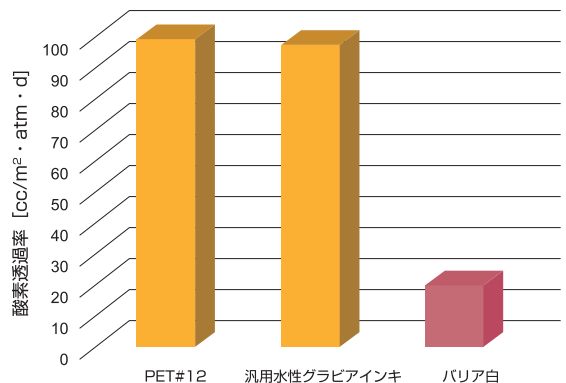
※ HPU 水性バリアインキ塗布量 4.5g/m<sup>2</sup>-dry (実測値)  
※ HPU 水性バリアインキに対してエポキシ系硬化剤 3%添加

#### ■ バリア白インキ

原反	インキ	塗布量 [g/m <sup>2</sup> -dry]	酸素透過率 [cc/m <sup>2</sup> · atm · d]	光学濃度
PET # 12	-	-	99.2	-
	汎用水性グラビアインキ	8.1	97.2	2.5
	バリア白	5.6	19.5	2.2

※印刷粘度：ザーンカップ#3にて17秒  
※塗布量は計算値

#### 酸素透過率の比較



Dainichiseika

大日精化工業株式会社

技術管理本部 展示会事務局  
e-mail:development@daicolor.co.jp